令和６年度　基本評価調書			所管部局	総合政策部	所管課	国際課	
施策名	ロシアとの経済交流				施策コード	0207	
政策の柱	産業活性化・業種横断分野				政策体系コード	1(6)E	
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策					事務事業数	3
特定分野別計画	北海道・ロシア地域間交流推進方針、北海道グローバル戦略						
SDGs					総合判定	遅れている	
予算額（千円）	R6	38,418千円	R5	46,382千円	R4	87,569千円	

施策目標	ロシアとの交流については、R2年6月に策定した「北海道・ロシア地域間交流推進方針」に基づき、本道が隣接する地域の平和と安定に寄与すること、また、ロシアの経済発展を本道経済の活性化に取り込むことを目標とし、方針で定める4つの交流の視点（①着実な交流、②未来につなぐ交流、③双方に利点のある交流、④選択と集中）により、国際情勢の推移などを注視しながら、適切に対応する。
現状と課題	（ロシア各地域との交流） ・ウクライナ情勢を背景にロシア各地域との交流の展開が困難な状況ではあるが、ロシアとの交流は自治体間の友好親善の促進や本道経済の活性化のみならず、北方領土問題の解決や平和条約締結に向けた環境の整備など、外交目標の達成に貢献し得るものと考えられることから、国際情勢を踏まえ、引き続きロシア側へ適切なアプローチを行う。 （ロシアビジネス関連企業への支援） ・ウクライナ侵略による影響を緩和し、今後の事業展開に係るリスクを分散するとの観点から、関係各所と連携し、道内ロシアビジネス関連企業等に対する支援を展開する。

〈主な取組〉

今年度の取組	（ロシア各地域との交流） ・ロシア極東3地域との常設合同委員会及びサハリン州との合同会議の開催、東方経済フォーラムへの参加 ・サンクトペテルブルク市とのワーキンググループの開催 ※ウクライナ情勢を勘案し、内容・実施時期を検討 （ロシアビジネス関連企業への支援） 道内ロシアビジネス関連企業等における他地域（中央アジア）への展開支援として、経産省及び道経産局、JICA北海道等と連携し、現地情報の収集・提供を実施する。
実績と成果	（ロシア各地域との交流） ・ロシア交流実施の検討にあたり、サハリン州政府や在ユジノサハリンスク総領事館等のロシア現地関係機関と意見交換を実施【R6.2月、5月】 ・稚内市の現地事務所との連携を密にすることで情報収集体制を強化【R6.4月～】 （ロシアビジネス関連企業の支援） ・道国際課、経産省、道経産局の3者にてロシアビジネス関連企業の支援のための情報交換会を随時開催【R5.8月、12月、R6.6月】 ・道経産局、JICA、HIECC等と連携し、道内ロシアビジネス関連企業等の支援を目的とした中央アジア事業を、以下のとおり実施 ①中央アジア物流セミナーの開催【R5.9月】 ②「国際情勢に応じたビジネス展開地域可能性調査」の実施（ウズベキスタンにおける現地ヒアリングを含む）【R5.8月～R6.3月】 ※調査結果を「北海道・ロシア協力プラットフォーム」参加機関（151企業・団体）に周知 ③道国際課、道経産局、JICA共催による中央アジア事業報告会の開催【R6.1月】 ④HIECC等共催による「中央アジアセミナー」の開催【R6.9月】
参考HP①	ロシアとの地域間交流　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/russia_new_top.html
参考HP②	
参考HP③	

令和6年度 基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

〈指標分析〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	億円	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
輸出額(暦年)		目標値	6,250.0	6,500.0	4,515.0	6,495.0	78.8%	D
		実績値	3,117.0	4,294.8	3,556.6			

設定理由	本道から海外に向けた輸出状況を測る指標であり、本道とロシアの経済交流の取組に関する成果を測る指標として設定。
指標公表時期	毎年11月頃公表
出典(根拠計画等)	函館税関「北海道外国貿易概況」

分析(主な取組と成果)

・R5実績値3,556.6億円のうち対ロシアの輸出額は131.5億円となり、主要品目として自動車並び自動車部品が108.61億円(82.5%)を占める。
・ロシアへの輸出等禁止措置により産業基盤関連品目やぜいたく品などの輸出が禁止となり、関連企業からのロシアへの輸出が滞っている。

指標名②	増加	人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
ロシアからの来道者実人数		目標値	-	-	-	-	―	―
		実績値	138	885	1,378			

設定理由	ロシアからの来道者数を測る指標であり、本道とロシア各地域との交流の取組に関する成果を測る指標として設定。 なお、人的交流は、ロシアとの経済交流を推進するにあたっての基盤・土壌となることから、成果指標として設定するが、ウクライナ情勢により大きく変動することから、目標値は設定していない。
指標公表時期	毎年4・10月頃公表
出典(根拠計画等)	北海道観光入込客数調査報告書

分析(主な取組と成果)

・ロシアによるウクライナ侵略の影響により、日本とロシアとの往来が大きく制限されていることから、目標値を設定することが困難であり、達成率や指標判定ができない状況にある。

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					―	―
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					―	―
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					―	―
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	（課題） ウクライナ情勢により、これまでロシアとのビジネスに取り組んできた道内企業に大きな影響が出ており、個々の事業継続はもとより、官民が連携して構築してきたネットワークや貿易ノウハウ・人材喪失の危機にある。 （取組） 経産省、道経産局、JICAなどとロシアビジネス関連企業等の支援を目的とした他地域（中央アジア）展開のための連携会議を随時開催。
緊急性 優先性	（課題） ロシアによるウクライナ侵略以降、ロシアを巡る国際情勢は大きく変化しており、今後のロシアへの追加制裁やロシアからの対抗措置等が、道内のロシア関係団体や企業へ更なる影響を及ぼす可能性がある。 （取組） 経産省や在ロシア日本大使館、現地日系企業及び道内のロシア関係団体・企業から情報収集を実施。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
ロシア関連行事数	17(R3)	0(R4)	0(R5)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）
・本道とロシア各地との交流は多様な分野で随時に実施しているところであるが、R4年2月のロシアによるウクライナ侵略以降、実施ができていない状況にある。

（状況） ・ロシアによるウクライナ侵略の影響により、今年度においても関連行事の実施が困難な状況にある。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
本道からロシアへの輸出額	82.66億円(R3年)	178.48億円(R4年)	131.50億円(R5年)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）
・ロシアへの輸出等禁止措置により産業基盤関連品目やぜいたく品などの輸出が禁止となり、関連企業からのロシアへの輸出が滞っている。

（状況） ・ロシアによるウクライナ侵略の影響によるロシアへの輸出等禁止措置等の影響により、輸出額に大きな増減が見込まれており、状況を注視する必要がある。	C

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）

（状況）	

令和6年度 基本評価調書	【1(6)E_0207】ロシアとの経済交流

〈総合判定〉

指　標　判　定	D※	連　携　状　況	○	総合判定	遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	c		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
（輸出額（暦年））

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	・ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に的確に対応するため、情報収集体制の強化などを図る。
	②	・ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアからの来道者の増加を図ることは困難であるが、国際情勢の変化に的確に対応するため、情報収集体制の強化などを図る。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、海外成長力の取り込みによる本道の持続的発展のため、今後も起こり得るグローバルリスクへの機動的な対応や、新たな市場・需要の開拓によるリスク分散、北海道ブランドの国際競争力の更なる強化が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応	経産局やJICA北海道など関係機関との連携により、道内ロシアビジネス関連企業の海外展開を支援する。	
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に適切に対応するため、経産局やJICA北海道など関係機関との連携を進め、情報共有を図る。
	②	ロシアに経済制裁などを実施している現状では、ロシアへの輸出拡大に資する対策を講じることは困難であるが、国際情勢の変化に適切に対応するため、経産局やJICA北海道など関係機関との連携を進め、情報共有を図る。
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	ロシアとの経済交流	施策コード	0207

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION　結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0901		一般	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費（団体補助金分を除く）	・北海道サハリン事務所の運営 ・「道とサハリン州との友好・経済協力に関する提携」等に基づく友好・経済協力事業の基本方針等を協議するための諸会議の実施	国際課		26,706	26,706	1.6	0.5	2.1	43,527	①、②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 ＜二次政策評価＞参照	改善	経産局やJICA北海道など関係機関との連携により、道内ロシアビジネス関連企業の海外展開を支援する。
0902		一般	サハリン州等ロシア極東地域友好・経済協力推進事業費（団体補助金分～北海道・ロシア極東交流事業実行委員会）	・北海道・ロシア極東交流事業実行委員会が行う道の対口施策に合致したサハリン州との友好交流事業に対する助成	国際課		2,166	2,166	0.1	0.0	0.1	2,967	②	改善（指標分析）		縮小	
0903		一般	国際交流推進費（北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業）	・ロシア極東地域との交流の深化に加え、欧露部等との交流の実施	国際課		9,546	9,546	0.6	0.3	0.9	16,755	①、②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 ＜二次政策評価＞参照	縮小	経産局やJICA北海道など関係機関との連携により、道内ロシアビジネス関連企業の海外展開を支援する。
計						0	38,418	38,418	2.3	0.8	3.1						